指定管理者年度評価シート（令和4年度）

1　施設の概要

施設名称	盛岡市総合交流ターミナル	所在地	盛岡市下田字生出 893番地11
施設の設置目的・概要	村資源を活用した都市との交流を推進することにより，地域の活性化を図るとともに，市民の保健及び休養と交流の場を提供する施設		
建物・設備の概要	構造　木・亜・二・一部鉄骨 敷地面積　34,245.45㎡ 延床面積　2,874.52㎡ 施設内容　研修室，食堂，クアハウス，宿泊室、食工房、トイレ他	設置年月日	平成10年4月1日

2　指定管理者が行う業務等

指定管理者名	たまやま振興株式会社	所管課名	産業振興課
指定期間	平成31年４月１日から令和６年３月31日		
指定管理業務の内容	(1) 事業に関すること。 ア　施設の開館時間の変更 イ　臨時に休館すること ウ　施設の利用予約受付及び使用許可業務を行なう。 ・使用許可申請書の受付 ・使用の許可，不許可，許可の取消し等 ・ターミナルからの退去を命ずること エ　業務報告書の作成（月次、年次）を行なう。 オ　市民の保健及び休養と交流を促進するために必要な飲食等の提供に関すること（自動販売機での提供を含む）。 (2) 施設，設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関すること。 ア　施設内外の清掃を行なうこと。 イ　床・ガラスの清掃を行なうこと。 ウ　除雪（随時） エ　除草を行うこと。 オ　施設等の維持管理を行なうこと。 (3) その他ターミナルの管理において必要な業務に関すること。	指定管理料（千円）	R4　53,228　千円
制度導入によって目指す施設の姿	(1) 地域密着型の施設として知識，経験，機動力などを活用し，施設の効率的な管理とサービスの向上を図ること。 (2) 施設の効率的な管理運営を行い，管理運営費の縮減に努めること。 (3) 個人情報の管理を徹底すること。		

3　評価

(1)　数値目標に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の平等使用の確保				
サービスの向上	利用料収入	108,900	92,329	B
管理経費の縮減	販売費及び一般管理費	109,763	124,989	B
適正な管理運営	営業利益（損失）	−20,203	−47,241	C

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか？	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか？	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか？	A	B
項目		自己評価	設置者評価
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか？	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか？	A	B
	利用者の立場に立った応対をしているか？	A	A
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか？	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか？	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か？	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か？	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか？	B	B
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか？	A	A

(3) 年度評価(数値目標及び管理運営(設置者評価)における評価結果を基に算定)

C

(4) 特記事項

令和4年度は限られた経営資源を最大限活かすことを考え、指定管理者として総合的な実力の向上に努めた。
クアハウス部門は令和2年10月以降順次スタートした平日限定の「盛岡市民割」「きんりん割」が好評を得ており、盛岡市民割30,466人、きんりん割12,294人の利用があった。結果として入浴者数が前期比で17,024人増・売上高が11,696,500円増となった。
産直部門は課題となっていた花卉の販売を12月より開始でき、利用者よりご意見の多かったパンの販売も2月より開始した。自社買取商品も前期比133%と売り上げを伸ばした。結果として前期比売上高は1,228,293円増となった。また、11月より産直売店システムを入れ替えし、各種分析や生産者へのメール配信も可能となった。
郷土食部門は「いわて食応援プロジェクト」に参画し、575枚の利用があった。卓数も11月より6卓から7卓へ増やし対応した。10月3日から一部メニュー変更及び価格改定を実施。「全国めだま焼き丼グランプリ」・「短角牛フェア」などにも参画。結果として前期比売上高は2,014,890円増となった。
宿泊部門は、今期もいわて応援旅プロジェクト・盛岡の宿応援割を効果的に活用し全体で前期比528人増・4,389名様にご宿泊いただいた。盛岡市老人クラブ連合会賛助会員に配布の各老人クラブの住所録を活用し、たまやま温泉Labにもご協力いただきカップアイスを特典にした日帰りプランチラシを送付するなど日帰り宴会の利用促進に努め32団体548名様にご利用いただいた。結果として前期比売上高は8,124,805円増となった。
イベント等については、4月に盛岡市近郊遊歩道・生出コース開通式典とコース内のハス観察イベント、7月と11月にはマルシェを開催、10月にフォークソングコンサート開催に協力。産直売店では9月に夢農業たかはし様にご協力いただき「銀河のしずく新米販売」、3月に開館25周年記念の先行として「記念エコバック・缶バッジ」を企画販売。11月には敷地内で収穫したかりんで「かりん風呂」を実施した。その他に宝くじ販売（サマージャンボ・ハロウィンジャンボ）を行った。
経費関係については、燃料費は単価高止まり・水道光熱費は燃料費調整額だけで450万円と大きな影響を受けた。
結果として売上計画119,900千円に対して、実績が111,456千円、利用者数計画186,000人に対して実績191,115人となり、売上及び営業外収益で155,403千円、売上原価並びに一般管理費・営業外費用157,107千円、経常損失1,703千円から法人税・住民税185千円を差し引き当期純損失は1,888千円となった。

※評価基準

数値目標に対する評価

S	達成率　130%以上
A	達成率　90%以上，130%未満
B	達成率　60%以上，90%未満
C	達成率　60%未満

管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている。
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている。
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある。

年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである。
AA	評価項目全てがA以上である。
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている。※ただし，Cが1つ以上ある場合はC評価
B	評価項目にBが半数を超えている。※ただし，Cが1つ以上ある場合はC評価
C	評価項目にCが含まれている。